

2023年8月25日
株式会社クボタ

<TV-CM 最新作オンエア開始>
長澤まさみが次に目覚めたのは・・・スペインだった!?
いどり豊かな暮らしのウラには
農業のスマート化を支える”クボタ”の存在があった。

TV-CM『クボタが支える スペイン農業』篇
2023年8月26日(土)からオンエア開始

株式会社クボタ(本社:大阪市浪速区、代表取締役社長 北尾 裕一)は、長澤まさみさんご出演の企業TV-CM最新作『クボタが支える スペイン農業』篇(30秒)を、2023年8月26日(土)にオンエア開始いたします。



■TV-CM『クボタが支える スペイン農業』篇について

本TV-CMシリーズは、クボタが長期ビジョン「GMB2030」で掲げる『豊かな社会と自然の循環にコミットする“命を支えるプラットフォーム”』を表現するCMシリーズの第2弾となります。長澤さんが目覚めると、そこは「〇〇」だったという設定のもと、その国の人々の暮らしを支えるクボタの姿を、現地の生活者の視点を通じて皆さんにお伝えします。

シリーズ第1弾ではタイの農家の娘として暮らしていた長澤さん。次に目覚めると、そこはスペインでした。地元で愛される食堂を切り盛りするなど現地の生活に溶け込みつつも、ゆったりとシエスタ*を楽しむ地元の農家さんたちの豊かな暮らしぶりに驚きます。そして、農家さんのゆとりを支えているのは、ICTで農業のスマート化を支えるクボタのソリューションだと気づくストーリーとなっています。

環境規制の厳しい欧州において、作物の状況に応じて農薬の散布量を調整することで使用量を削減、またトレーサビリティの向上に欠かせない作業記録の管理をシステム化するなど、効率的かつ精密な農業経営を実現することで、環境負荷や作業負荷の低減にも貢献しています。

そして次に目覚めたのは・・・

*日照時間の長いスペインで生まれた習慣で、長いお昼休憩のこと

■クボタの欧州におけるスマート農業ソリューション

欧州では、北極圏から地中海圏まで幅広い気候帯のなかで、多種多様な農業がおこなわれています。また、健康志向の高まりの中で、食の安全と環境を保全し、持続可能な農業を実現するための様々な取り組みが盛んに行われているという特徴があります。

クボタは1974年にフランスに拠点を開設して以来、先進的な農業ソリューションを求める欧州のお客様のニーズに適応しながら、事業を拡大してまいりました。近年では、環境負荷の低減、働く人々の安全や健康を考慮した持続可能かつ効率的な農業を支援するために、ICTを活用したスマート農業ソリューションの開発を進めています。

例えば、ブドウやオリーブ、リンゴなどの果樹栽培における薬剤散布のスマート化により、薬剤使用量を最適化することで作物や土壌への環境保全、作業記録のデータ化による事務作業の省力化など、生産性・品質向上に取り組んでいます。さらに、欧州のトラクタキャビンの保護レベルで、最も厳格なカテゴリ4に対応したモデルを発売。粉じんやエアロゾル*による作業者の健康被害リスク低減にも取り組んでいます。

クボタは今後も「豊かな社会と自然の循環にコミットする“命を支えるプラットフォーム”」として、欧州での持続可能な農業への取り組みを、技術で支えてまいります。

*気体中に浮遊する微小な液体または固体の粒子と周囲の気体の混合体

■出演者プロフィール

長澤 まさみ

1987年生まれ、静岡県出身。2000年第5回「東宝シンデレラ」オーディションにてグランプリを受賞し、同年女優としてデビュー。以来、多数の話題作に出演。近年では『コンフィデンスマンJP』シリーズ、映画『MOTHER マザー』『マスカレード・ナイト』『シン・ウルトラマン』『百花』など。2023年3月に、映画『シン・仮面ライダー』『ロストケア』が相次いで公開された。また2022年放送の「エルピス-希望、あるいは災い-」にて、第31回橋田賞・第60回 ギャラクシー賞・第49回放送文化基金賞を受賞。



■CM概要

タイトル : クボタ 新TV-CM 『クボタが支える スペイン農業』篇

出演 : 長澤 まさみ

放映開始日: 2023年8月26日(土)

■株式会社 クボタ

1890(明治23)年、鋳物メーカーとして創業。コレラをはじめとする伝染病が猛威を振るう社会情勢のなか、公衆衛生の整備に取り組むべく、水道用鉄管の国産化に挑み、その後日本で初めて量産化に成功。

「国の発展に役立つ商品は、全知全霊を込めて作り出さねば生まれない」「技術的に優れているだけでなく、社会の皆様に役立つものでなければならない」という創業者・久保田権四郎の志を継ぎ、戦後の食糧難に端を発する農業機械開発、高度成長期に合わせた下水処理事業や都市環境インフラ事業の確立など、時代時代の社会課題を見つめ、それらの解決に取り組んでまいりました。

2000年代以降は海外での事業拡大を加速させており、2022年度の海外売上高比率は78%、世界120以上の国・地域で事業を展開し、各地域の気候や環境に応じた課題解決に取り組んでおります。

現在は「食料・水・環境」という事業領域を一体のものと捉え、相互に連携・作用することで、高度で複雑な課題にも対応しうる新たなソリューションの創出に取り組んでいます。

【代表取締役社長】北尾 裕一

【売上高】 26,788億円(2022年12月31日現在・連結)

【従業員数】 50,352人(2022年12月31日現在・連結)

【本社所在地】 大阪市浪速区敷津東一丁目 2 番 47 号

☆株式会社クボタ コーポレートサイト: <https://www.kubota.co.jp/>

■クボタの欧州における農業事業について

欧州は世界有数の農業地域で、トラクタを中心とした農業機械における世界屈指のマーケットです。クボタはフランスにトラクタの生産工場を設立し、大型農機市場に進出。クバンランド社(オランダ)の買収(2014年)をはじめ、ロック社(イタリア)、フェデ社(スペイン)など、インプルメントメーカーをグループ会社化。トラクタとインプルメントの連携強化を進め、畑作から果樹、牧草関連市場に至る幅広い領域にソリューションを提供しています。さらに、2021年には研究開発拠点をフランスに開設し、現地ニーズにあった製品・サービスの提供に取り組んでいます。

また、農業大国であるオランダ・アムステルダム近郊に設置された「クボタイノベーションセンター ヨーロッパ(ICE)は、大学との共同研究やスタートアップへの投資など、異分野・異業種の社外パートナーとの連携を強化し、高度化・多様化する課題解決に貢献するためのオープンイノベーションを積極的に推進しています。食料問題の解決に向け、農作物生産を中心としたソリューションにとどまらず、食料システムを「フードバリューチェーン」と捉え、生産から消費までのトータルソリューションの提供による新たな価値創造に取り組んでいます。